

『かんきょうかわら版』

愛南町環境衛生課 TEL 72-7316

不法投棄・パイ捨ては犯罪です！ごみは適切な処理を！

不法投棄は地域全体の問題です！

今年4月、蓮乗寺川において、住民からの連絡により空き缶、タバコの吸い殻など大量の不法投棄が確認されました。一度捨てられたごみは誰かが拾うまで残り続け、私たちの生活環境を悪化させるだけでなく、さらなる不法投棄を招くおそれがあります。気づいた誰かがごみを拾ってくれると他人事に捉えるのではなく、地域全体の問題と捉え、ごみを出させない環境づくりについて考えてみませんか？

生活の中で、一人ひとりがごみの分別、減量を意識し、不法投棄をしない、させない住みやすい環境を作りましょう！



蓮乗寺川の不法投棄の様子

■ 不法投棄に対する罰則…廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条

個人：5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金

法人：3億円以下の罰金

6月は環境月間です！食品ロスを減らしましょう！

日本では年間約523万トンの食品ロスがあり、国民1人当たりの食品ロス量として換算すると、毎日おにぎり1個分の食品が捨てられています。家庭で食品ロスが起こる原因として、賞味・消費期限内に食べられなかった、冷蔵庫に入れたまま存在を忘れてしまった、などが挙げられます。食品ロスを減らし、家庭のお財布、環境に優しい生活を目指しませんか。

～おうちでチェック！食品ロス対策～

- 買い物前に自宅の冷蔵庫にある食品の種類、量を確認しましょう。
- 誤った方法で保存すると、食品の劣化が早くなる場合があります。保存は正しい方法で、食品をおいしく食べきりましょう。
- リメイクやアレンジレシピで、作りすぎてしまった料理を食べきりましょう。



◎これから活発になるハチの駆除について

暖かくなるとハチは盛んに活動します。特にスズメバチは攻撃性が高く、毎年多くの被害が発生しています。もし、巣を見つけた場合はむやみに近づかず、刺激しないようにしましょう。

- ・愛南町では、私有地内のハチの駆除、補助制度は行っていない。
- ・防護服の貸出を行っていますので、自分で駆除できる方は環境衛生課または各支所まで連絡してください。※防護服を着ても、100%安全ではありませんので、十分注意して作業してください。
- ・自分で駆除できない場合は、専門業者（有料）に依頼してください。
※専門業者に依頼する場合は、巣の場所や大きさなどで料金が異なるので、事前に確認をしておきましょう。

マダニによる感染症にご注意！

春から秋にかけてマダニの活動が活発になります。咬まれた場合、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱などの感染症の恐れがあります。森林や草地などに入る際は肌の露出が少なくするため、長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくしてマダニ対策を心がけましょう。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

【潜伏期間】

▶マダニに咬まれてから6日～2週間後に発症。

【症状】

- ▶発熱、嘔吐、下痢、腹痛など。
- ▶重症化し、死亡することもあります。



キチマダニ(吸血前)

日本紅斑熱とは？

【潜伏期間】

▶マダニに咬まれてから2日～8日後に発症。

【症状】

▶頭痛、発熱、倦怠感など。



キチマダニ(吸血中)

もしマダニに咬まれたら？

マダニに咬まれても、痛みや痒みは少なく、気付かないこともあります。吸血中のマダニに気づいたら、手でつぶしたり、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置しましょう。野山に出かけた後に熱などの症状が出たら、速やかに医療機関を受診してください。